

イベント会場等における 新型コロナウイルス感染症対策に伴う 施設内混雑度シミュレーション検証



流動システム開発・解析
Vector Research
Institute, Inc.

株式会社ベクトル総研

<http://vri.co.jp/>

作成日時 : 2020/07/27

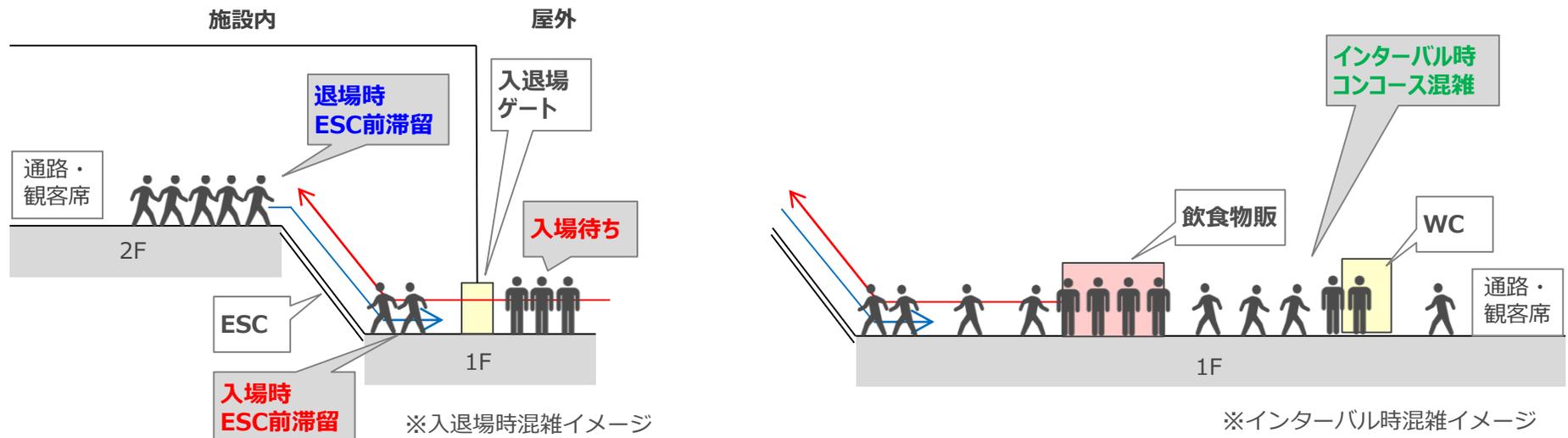
検証目的と検証対象場面

□ 検証目的

- 新型コロナ対策感染症対策としてソーシャルディスタンス確保策等を講じた場合の許容来場者数、設備窓口必要数の検証を支援します

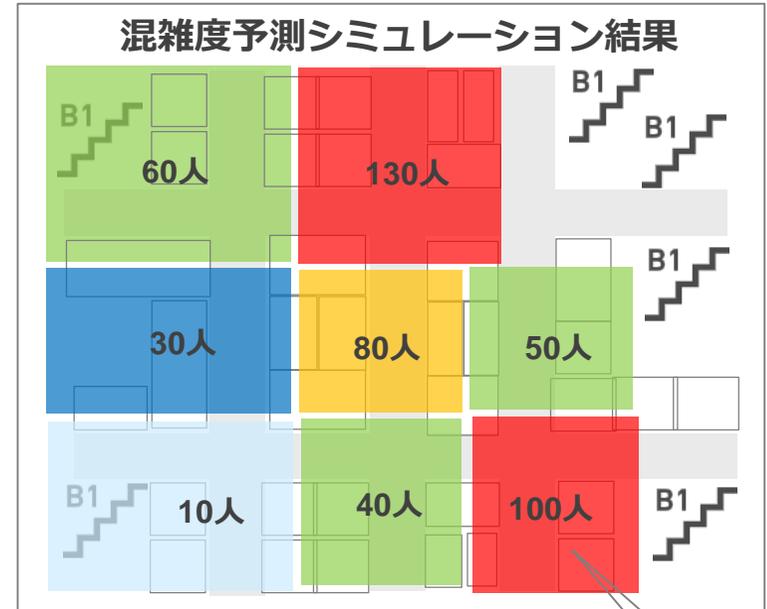
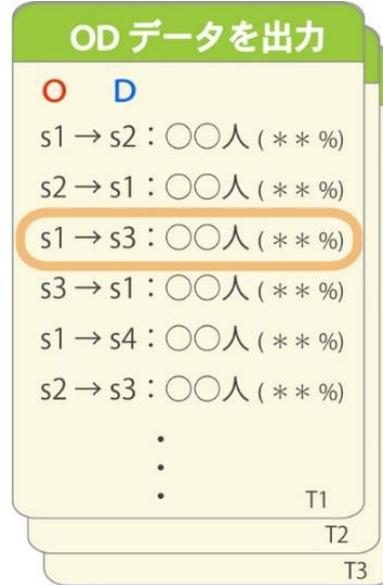
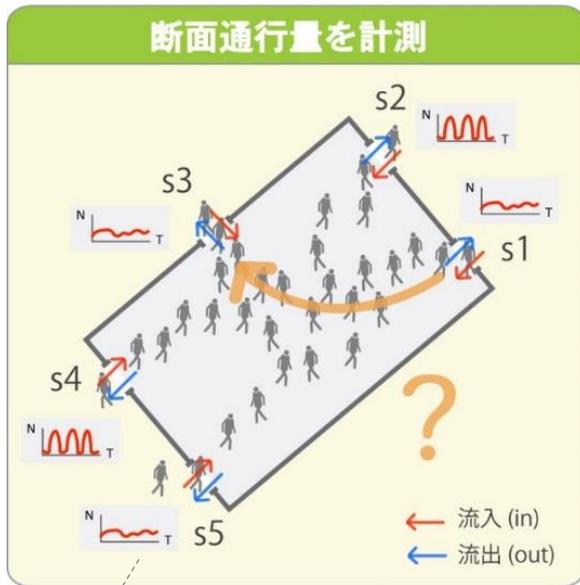
□ イベント会場における検証対象場面の例

- 1) **入場時**：施設到着→入場口通過→施設内移動→コンコース境界
 - 2) **インターバル**：施設内移動、トイレ利用、飲食・物販購入 など
 - 3) **退場時**：コンコース境界→施設内移動→退場口通過→施設出発
- ✓ コンコース境界：コンコースと観覧席エリアの境界部分



検証方法：施設内混雑度予測シミュレーション

- 施設内の利用者計測データ等からエリア別に施設内の混雑度をシミュレーションし、賑わいや混雑度、ソーシャルディスタンス、3密回避等の検討を支援します



Origin : 入口 (流入断面)
Destination : 出口 (流出断面)



混雑緩和が必要

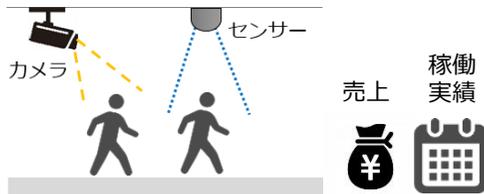
検証の展開：アフターコロナ対策の支援

□ データを分析して、各場面に適した価値創出を支援します

対象場面：アフターコロナ、平常時、災害時、など

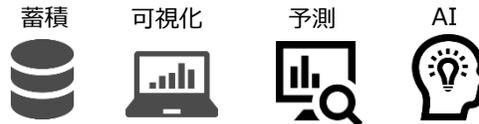
データ (取得、計測)

- 既存の管理・運用・売上データの取得、集約
- 既存のデータ取得
- 新規のデータ計測



分析 (シミュレーション)

- データ蓄積、可視化
- 分析、予測、最適化
- AI解析、映像解析
- 行動分析、定量評価、改善計画の比較検証



価値創出 (現状改善)

- 安全性、ブランド向上
- 危機管理、防災・避難計画の支援
- コスト削減、見える化
- 業務効率の向上、人員の適正配置、働き方改善
- 売上、回遊性の向上、お客さま満足度の向上

トータル・コンサルティング